

まいづるきょうさい

9 Sep 2011

Vol.15

<http://www.maiduru.com>



「秋花」 足立 篤子さん(舞鶴共済病院OG)



「コスモス」 北川 マユミさん(ICU・CCU)



「さんきらい」 山崎 幸子さん(新館5階)

目次 Contents



ごあいさつ

P2



PICK UP

P3



お薬のお話し

P4



看護部だより

P5



理念・基本方針

P5



食に関する豆知識

P6



THE 旬ネタ 話題のコラム

P6



すこやか森ニュース

P7



診療時間・外来各科診察担当医

P8



「柿と柚子」 村山 田鶴子さん(施設課)

ホームページもご覧ください

舞鶴共済病院

検索



平成23年
10月13日(木)は
病院創立記念日
のため
休診となります





病院長事務代行
布施 春樹

ご挨拶

残暑厳しい折、皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年は3月11日に国難とも言うべき東日本大震災にみまわれ、さらに9月11日には台風12号が近畿地方を直撃し、特に和歌山、奈良両県に甚大な被害が及びました。さらに9月21日には台風15号が全国的に更なる被害をもたらしました。

不幸にして亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の一刻も早い復興を祈念しています。当院も原発問題も含めた大規模災害に対する対応は行政を中心に早急に考えていかなければならないと思います。

現在当院は中丹医療域の中で、急性期病院としての位置づけのもと周辺病院・診療所・開業の先生方と密接な関連を保ちながら地域医療の基幹病院として稼働しています。

今年度3つの重要課題を掲げました。

1. 電子カルテをふまえたフルオーダーリング化の実現
2. 新病棟建築、外来機能のセンター化を基にした効率化。
3. 医師確保(特に内科医師)。看護師確保(7:1体制を目標に)

これらにつきまして、現在の進捗状況を報告させていただきます。

まず、電子カルテをふまえたフルオーダーリング化ですが、来年5月にフルオーダーリングシステムを導入します。電子カルテはその6カ月後に導入することを目標に院内でヒアリング等を進めています。院内職員の方々には、医療安全の根幹に電子カルテがあることを理解していただき導入に協力していただいています。

新病棟建築については、入院患者さんの療養環境の改善、診療体制(特に救急機能、外来機能)の効率化、手術室、ICU、心カテ室等を急性期病院に見合った機能にすること、さらにがん治療のための放射線診断・治療の体制作りなどをコンセプトに、設計が進んでいます。平成25年竣工を目指し、各関係部署と精力的に進めています。

最後に医師確保ですが、この11月より血液内科の医師が常勤となります。さらに小児科医師(小児循環器科医師も含む)の増員も決定されました。看護師確保も病院として積極的に取り組んでいます。これからも研修医確保も含め、魅力ある病院作りのため地道な努力を続けるつもりです。

これらの病院の抱えるさまざまな問題は、今後職員一丸となって解決していかなければいけません。伝統ある舞鶴共済病院が、舞鶴市民にとって信頼できる病院であり続けるために市民の皆さんの意見を常に聞きながら、改善していきますので今後ともよろしくお願いいたします。





言語聴覚士の仕事

言語聴覚士は、Speech-Language-Hearing Therapist(ST)ともいわれ、ことばや聞こえ、食べることに問題を持ってしまった方々に対して、問題となる機能、またそれによって起こる障害を評価し、改善、維持、代償するために様々な援助を行います。

障害の原因や症状は様々で、主な問題は右記の通りです。

言語聴覚士は医療機関、保健・福祉機関、教育機関など幅広い分野で働いていますが、勤務先によって対象となる症状も異なりますし、対象年齢も幼児から高齢者まで様々です。

当院では、午前中は主に聴力検査業務に携わり、午後は摂食・嚥下障害や失語症、構音障害の評価やリハビリを行っています。

失語症

脳出血、脳梗塞や頭部外傷などにより「話す」「聞いて理解する」「読む」「書く」「計算する」が難しくなること。

構音障害

発音がはっきりせず、ことばが不明瞭になること。

聴覚障害

耳が聞こえない、聞こえにくいために、コミュニケーションに支障があること。子供の場合は、ことばの発達に影響することもある。

摂食・嚥下障害

食べたり、飲んだりすることが難しくなること。

その他

高次脳機能障害、音声障害、言語発達障害など。

摂食・嚥下障害とは？

「摂食」とは口から食べ物を摂取する行動、「嚥下」とは食べ物を口から飲み込んで、胃の中まで送る一連の運動のことを言います。これらの一連の過程の一部あるいは複数の過程が傷害され、食べる・飲み込むことが困難になることを「摂食・嚥下障害」といいます。摂食・嚥下障害になると栄養が十分に取れなくなったり、誤嚥性肺炎や窒息などの危険をもたらします。また食事ができなくなったり、好きなものが食べられなくなったりするなど、精神的なストレスにもなります。

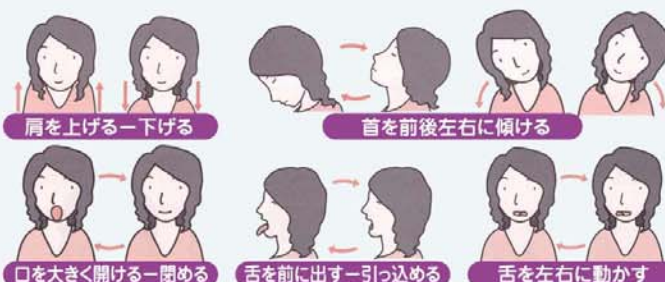
原因として最も多いのが脳梗塞などの脳血管障害ですが、高齢者においては、加齢による筋力低下や口腔内の感覚低下により摂食・嚥下障害を発症しやすくなると言われています。

摂食・嚥下障害が疑われる症状とは？

- 口から食べ物がこぼれる
- 食べ物や水分を飲むときにむせる
- 食べ物が喉に残った感じがする
- 食べ物が鼻に逆流する
- 肺炎(発熱)を繰り返す など
- よだれがよく出る
- 飲み込むまでに時間がかかる
- 食後の声がガラガラ声になる
- 口腔内に食物が残る

ご家庭において、摂食・嚥下障害を早期に見察するためには、本人の自覚のみではなく、周囲の方々の注意深い観察や配慮が必要です。体調や食べ方などの様々な変化を見逃さないよう日頃から心がけていただきたいと思います。

嚥下機能を維持・改善するためには？



出典「リハビリナースの摂食・嚥下障害看護」 編集：市村久美子 メディカ出版

食べる前や時間がある時に、身体や口をほぐして動かしやすい状態にします。

- 肩を上げるー下げる
- 首を前後左右に傾ける
- 口を大きく開けるー閉める
- 唇を突き出すー横に引きのばす(イーウー)
- 舌を前に出すー引っ込める
- 舌を左右に動かす(口の端に触れるように)
- 深呼吸をする など

これらの体操は、すぐに劇的な効果がでるわけではなく、続けていくことでゆっくりと効果があらわれるといわれています。また、誤嚥性肺炎を予防するには飲み込む力を維持することのほかに、口の中の雑菌を誤って飲み込まないようにするために、口の中をきれいに保つことも重要です。体操や口腔ケアを継続し、安全に口から食べることを続けていきましょう。



お薬手帳を 携帯し活用しましょう！



病院を受診したときや薬局でお薬をもらわれるとき、「お薬手帳をお持ちですか？」と聞かれた経験はありませんか？
いま、お薬手帳の利用を拡げようと少しずつではありますが薬剤師会等では活動を進めています。

お薬手帳とはどのようなもの なのでしょう？

お薬手帳は、どこの病(医)院から、どのようなお薬を、いつから、
どのような飲み方でもらわれているかを記録する手帳です。

お薬手帳はどのようなときに 役立つのでしょうか？

今までの病気以外で他の病(医)院や他の診療科を受診する時に、
その方がどのようなお薬を飲んでいるかは大変重要な情報です。
その情報を活用するためにお薬手帳が役立ちます。

その1

他の医師に診察を受けるという
ことは新たな病気が疑われる場
合ですから、その病気と飲んで
いる薬と関係があるかどうか調
べる事ができます。また飲んでい
る薬の内容でこれまでどんな病
気があるのか推測もする事がで
きます。

その2

手術や出血を伴う検査が必要
な場合、出血に影響のある薬は
あらかじめ休まなければならない
事があります。お薬手帳があ
ればその薬があるかないかす
ぐに分かります。

その3

新たなお薬が必要な場合、これ
までのお薬との作用が重複したり、
飲み合わせが悪かったり(相互
作用)、また、今までに副作用の
出たお薬が処方されたりするこ
とは避けなければなりません。
お薬手帳があればそれらを考
慮して処方することができます。

つまり、お薬手帳を活用することで、以後のご自身の治療がスムーズに、また適正に行う事ができるのです。ただしその
ためにお薬手帳には最新のお薬の内容が記入されていなければ役に立ちませんので、医療機関を受診する時は常に携帯し、
お薬をもらうときは必ず記入してもらいましょう。

また、複数の病(医)院におかかりの患者さんでお薬手帳を何冊も持っている方がおられます。受診する病(医)院ごとや
薬局ごとに手帳を分けるのではなく、1冊にまとめて活用していただくことをお勧めします。

舞鶴共済病院では薬剤師が患者さんの退院時に副作用の歴や入院中のお薬の内容、調剤方法などについてお薬手帳
に記入することでかかりつけ薬局に情報をお知らせするように心がけています。これは入院中の治療を外来でも継続して
いただけるようにとの思いからです。

また町の調剤薬局でも、お薬の内容や副作用が疑われるなど主治
医へ伝えたい事があればお薬手帳を利用して情報を伝えていこうと
しています。

このようにお薬手帳は患者様の治療をより良くするための医療機
関の“連絡帳”となります。お薬を正しく安全に使用するためにぜひお
薬手帳を携帯し活用しましょう。





第20回 母乳育児シンポジウムに参加して

母乳育児シンポジウムは、世界母乳週間に合わせて、毎年8月の第1土日に開催されており、今回で第20回を迎えました。この記念の会を京都で開催することができ、京都で唯一のBFH（Baby Friendly Hospital／赤ちゃんにやさしい病院）である当院からも、実行委員として参加させていただけたことは大変光栄でした。

震災の影響もありましたが、ほぼ例年同様の1050名の参加者がありました。今年のテーマは、京都にはBFHが当院以外にないため、京都をはじめ全国に母乳育児の輪を広げようという思いから「伝える伝わる母乳育児」と付けられました。

内容は、一般演題発表の他、篠原一之先生の教育講演・鷗田清一先生の特別講演があり、これから母乳育児に取り組む施設にも分かりやすい内容となっていました。また毎年第2日目の午後は、「市民公開シンポジウム」があり一般の方にも参加頂けるのですが、今年は「災害特別シンポジウム」ということで、「東日本大震災―母子への支援」をテーマに、震災を体験された方が、その様子を語り伝えてくれました。シンポジ

ストは東北3県から9人の方が復興途上の中、参加してくださいました。東北公済病院（BFH認定）の産婦人科医師と助産師からは、ライフラインの途絶えた病院での分娩・母乳育児支援について報告されました。また、いわき市の小児科医師からは、放射性物質の拡散情報が不十分だったため、被爆を避けるために緊急搬送した新生児が、実はいわき市よりも放射能濃度が高い地域に搬送されたことが後に判明したことや、普段の形式的な避難訓練は現実では役に立たず、準備不足が痛感されたこと、エビデンスに基づいた情報を伝えていくことの重要性などについてお話されました。

最後にフロアーの一般のお母さんから「このようなシンポジウムに参加させていただけたこと、大勢の医療者の方たちが、真剣に母乳育児を支援してくださることに感謝します。私はこれからもわが子を大切にがんばり育てていきたいと思っています。」と発言されました。このように言っていただき、実行委員会・協力スタッフ一同、これまで平成22年9月から10回に渡り実行委員会を開いて準備してきた苦労が報われたという想いの中、無事シンポジウムを終えることができました。シンポジウム参加にあたりご協力いただいた院長代行をはじめ、病院関係者の方々に感謝いたします。

シンポジウム副実行委員長 大谷ゆかり（本館5階師長）

シンポジウム実行委員 内海 敦子（母乳外来助産師）



Idea of Maizuru Kyosai Hospital

舞鶴共済病院 理念

当院は患者様に良質で
安心していただける医療を
提供いたします

Basic Policy

基本方針

1. 良質で安全な医療

私達は安全で質の高い医療をめざし患者様の信頼を得よう全力を尽くします

2. 患者様を中心とした医療

私達は患者様の人格・権利を尊重し充分な説明を行うとともに
患者様の了解のもとに医療を行います

3. 地域との積極的な連携

私達は地域の医療ニーズに応え地域と密接な連携を大切にします

maizuru kyosai hospital



食に関する豆知識



お月見

月見の宴は中国から伝来したもののようですが、日本では、もともとは宮中で行われていた行事です。

当時は、だんごは供えず、里芋・塩漬なす・甘酒を供えていたようです。

里芋は、小芋が増えることから縁起物として正月を始め、いろいろな行事に使われています。

特に中秋の名月の頃は、里芋のとれる季節であり、旧暦の八月十五夜は、別名「芋名月」と呼ばれています。

月見にだんごを供えるのは、真丸い十五夜の月を模(かたど)ったもので「天の月・地のだんご」という縁起をかついだものです。

だんごの数は十五夜に、ちなんで十五個供える地方と、十二ヶ月にならって十二個のところもあるようです。

だんごを食べながら、はるか昔を空想するのも一興かもしれませんね。

栄養科

平成23年度 舞鶴市民 ちゃったレガッタ大会

男女混合
の部

スキがあったら
かかってこんかい!
チーム

大健闘3位!

平成23年7月31日(日)、東地区海岸にて平成23年度舞鶴市民ちゃったレガッタ大会が開催されました。心配されていた天候も良く、気温30℃の暑さの中、今年も盛大に盛り上がりました。当院からは一般男子の部に3チーム、一般女子の部に1チーム、男女混合の部に3チームの計43名の有志に集っていただきました。当院チームが次々と敗れ去っていく中、最も健闘を見せてくれたのは男女混合の部に出場した、「スキがあったらかかってこんかい!」(小池・小畑・葛西・武田・田中・大槻)チーム。混合の部全チーム中3位の大健闘でした。

例年のごとく共済病院陣営では特大コンロでバーベキュー。今年は焼き鳥専用コンロまで出現。海の潮風を感じ声援を響かせながら最高の一時を過ごしました。

来年も出場を予定しておりますので、職員の皆様には多くの参加をお待ちしています。

舞鶴共済病院 体育 部



すこやか森 ニュース

第10回

「一歩の会」 「なごみの部屋」の 作業活動紹介

作業の会に新たな会が発足いたしました。
その名は「野菜の皮むき隊」!!

厨房では、利用者様のお食事の準備のひとつである、「皮むき」の仕事は、毎日相当な量があります。利用者様の中でも、農作物に関するお仕事は人気があり、「こんなことなら、いつでもするで!」と、言って下さいます。毎週水曜日は1階、木曜日は3階、金曜日は2階で、それぞれ行っています。



にんじん



玉ねぎ

厨房からの声

本当に助かってます。
ヘタを取るだけで
すぐに作業に
とりかかれるんです。

調理師 日下さん



受賞作品

全国に発行されている情報誌「あたたかいこ」にて、手工芸部門の最優秀賞である「あたたかいこ賞」を受賞された登子様の作品です。
素晴らしい賞の受賞に感動させて頂きました。



農園日記

畑の野菜は春から夏にかけて、たくさん収穫されました。松本先生の「子育て」のお陰で、スクスクと育ち採れたものを利用者様と職員で加工しておいしく頂くことを楽しみにしています。畑仕事は、利用者様の生き生きとした姿がとてよく見られる時間です。



5月 舞鶴ツアー

施設を出発して、まずは東舞鶴にある「ふるるファーム」に行って昼食バイキング、その後は「引き揚げ記念公園」を見学して、西舞鶴に戻り、「田辺城」前を通過して帰ってきました。



レクリエーション行事

6月 あじさい見物



引土にあります、円隆寺さんを訪れ、色とりどりのあじさいを見せて頂きました。
「昔はよう遊びに来たなあ。」など思い出話に花が咲きました。



7月 魚っ知館

暑すぎるような快晴の中、宮津までのドライブと、水族館の見学。魚を見ているとなんだか涼しくなりました。



8月 盆踊り大会

恒例の盆踊り大会が8月4日に開催されました。お忙しい中、たくさんのご家族様にお越し頂き、また浴衣のご準備もお世話になりました。

